

博士後期課程(博士) / 看護学 / 特別研究

科目コード:300013

特別研究(松本勝) Special Research

担当教員	松本 勝					
実務経験						
開講年次	-	単位数	-	授業形態	講義・演習	
必修・選択	-	時間数	-			
該当ディプロマポリシー	(1)	○	(2)	○	(3)	○
Keywords	ウェルビーイング、看護工学、在宅療養支援、ケイノーベーション、ロボティックケア、ロボティックマットレス、超音波検査(エコー)によるフィジカルアセスメント、排泄ケア、ICT/MR遠隔支援、臨床データ・AI活用、研究計画書、論文作成					
学習目的・目標	<p><学習目的></p> <p>在宅療養高齢者のウェルビーイング向上と自立支援を目指し、生活支援機器の開発、超音波等によるアセスメント、ICT/MR・AIによる遠隔支援などを活用したケアの開発・評価・社会実装に必要な研究能力を修得する</p> <p><学習目標></p> <ul style="list-style-type: none">・臨床・地域の課題を起点に、在宅療養高齢者の生活を支える看護の研究課題を設定できる。・研究デザインを適切に選択し、倫理的配慮のもと研究計画を立案・遂行できる。・超音波画像や臨床データ等の多様なデータを統合・解析し、結果を理論化・体系化できる。・研究成果を学会発表・論文投稿・社会実装へつなげ、博士論文としてまとめることができる。					
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none">1. 研究課題の決定2. 研究計画の立案3. 研究計画書の作成4. データ収集・分析の討議5. 中間報告6. 論文の作成7. 論文審査8. 論文の公表					
教科書	なし					
参考図書等	適宜紹介する					
評価方法・基準	博士論文の完成度(独創性、科学的妥当性、倫理性、学術的・社会的意義)					
関連科目	高齢者看護科学特論、高齢者看護科学演習A、高齢者看護科学演習B					
教員から学生へのメッセージ	臨床の課題を起点に、看護と工学・情報の共創によるケイノーベーションの創出を目指します。現場で“使える”知見・技術となるよう、試作と評価、実装まで一緒に進めましょう。					